



# こうち

■ 平成 29 年 3 月 24 日(金)発行  
■ 校長 湊谷 隆司

〒088-1101 厚岸郡厚岸町若松 307  
TEL 0153-55-9102  
FAX 0153-55-9103

- 教育目標
  - ・自ら学び豊かな表現ができる子ども
  - ・明るく思いやりのある子ども
  - ・集団の一員としての自覚をもつ子ども
  - ・健康でたくましい子ども
  - ・進んで事にあたり、勤労に励む子ども
- 校訓
  - ・かしこく (賢) -知育-
  - ・やさしく (愛) -徳育-
  - ・たくましく (剛) -体育-



## 4月の高知小中

| 日  | 曜 | 予 定 行 事                                     |
|----|---|---|
| 1  | 土 | 学年始め休業(~4/5)                                |
| 2  | 日 |   |
| 3  | 月 |   |
| 4  | 火 |   |
| 5  | 水 |   |
| 6  | 木 | 着任式 第1学期始業式 教科書配付<br>若松自治会役員会(若松集会所 19:30-) |
| 7  | 金 | スクールバス乗車指導 図書館バス<br>PTA役員会(予定)              |
| 8  | 土 |   |
| 9  | 日 |   |
| 10 | 月 |   |
| 11 | 火 |   |
| 12 | 水 |   |
| 13 | 木 | 中学校学力テスト                                    |
| 14 | 金 |   |
| 15 | 土 | 土曜授業 授業参観 PTA総会                             |
| 16 | 日 | 若松自治会総会(若松集会所 10:30-)                       |
| 17 | 月 |   |
| 18 | 火 | 全国学力・学習状況調査                                 |
| 19 | 水 | 職員会議(5月行事)                                  |
| 20 | 木 |   |
| 21 | 金 | 図書館バス 知能検査(小2・5)                            |
| 22 | 土 |   |
| 23 | 日 |   |
| 24 | 月 | 集金日   |
| 25 | 火 | 集金日   |
| 26 | 水 |   |
| 27 | 木 | 内科検診(13:25-)                                |
| 28 | 金 |   |
| 29 | 土 | 昭和の日  |
| 30 | 日 |   |

ありがとうございました

校長 湊谷 隆司

3月24日の修了式をもって、高知小中学校の1年間の教育活動が終了いたしました。

事件や事故もなく、児童生徒一人一人が健康で充実した学校生活を送ることができました。また、先日の卒業式において、たった一人の卒業生でしたが、保護者・地域の皆様には多数ご出席いただきありがとうございました。小さな学校ですがこの1年間で中身の詰まった教育活動ができたと思います。これもひとえに保護者や地域の皆様のご理解とご協力の賜だと思えます。本当にありがとうございました。

さて、地域や保護者の皆様にたびたびお話ししていますが、児童生徒達は、一人一人いろいろな面で確実に成長をしています。毎日顔を合わせていると気が付きませんし、大人の基準で評価した場合は、その成長に気が付かない場合もあります。

言葉の数が増えたり、理由をつけて話をしたり、また人の立場に立ったものの見方ができるようになったりと、会話の様子を見ても心と頭の成長の証が確認できます。さらに、行動面でも立ち居振る舞いなどからも1年間の成長を見取ることができます。

たった1年ですが、児童生徒達にとっては中身の濃い1年です。60歳の大人から見れば1年間は人生の60分の1ですが、小学生や中学生の1年は人生のおよそ10分の1に当たります。この1年間はとても大事な時間です。1年のサイクルで、とてつもなくたくさんの経験をして、自分の将来に生かす土台を作っているのです。

自分の成長は自分自身ではなかなか理解できないものです。テストのようにはっきりと目に見えるものは、自分自身で確認できますが、心やものの見方や考え方など、目に見えない部分は周りからの評価が重要になります。

この1年間の児童生徒の心や考え方の成長をご家庭で話題にして、成長した部分をたくさん褒めていただきたいと思います。

今年度、本校職員もこの大切な時間を無駄にすることなく、子どもたちの育ちを保障すべく、自分の持っている力を発揮し、チーム高知として努力してきました。しかし、いくつかの課題もありました。

高知小中学校の職員も、児童生徒たちの成長を振り返りながら、児童生徒一人一人、そして学校自体の課題を明確にし、その改善に向けて来年度も丁寧に教育活動を進めてまいります。新年度もこれまで同様、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 中学校第66回卒業証書授与式



万感の思いを込め、学舎を巣立つ卒業生。厳粛な雰囲気の中にも、温かい空気が会場を包む卒業式でした。多くの地域、保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。

業式でした。多くの地域、保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。

本年度1年間の高知小中学校への多大なるご理解とご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。次年度も、本校の教育活動にご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

Thank you

# ■ 本年度、チーム高知を離れる方々

3月は別れの季節です。本年度、高知小中学校を去ることになった職員は次の通りです。

あまのあきはる  
**天野 彰 春**

教諭（平成23年4月着任 定年退職）



38年の教職員生活の最後の6年間で、この高知小中学校で過ごさせていただきました。家からの20.9kmの通勤は、タンチョウ、オオワシ、オジロワシ、ハクチョウ、キツネなどにも出会うことができ、ゆったりと学校に着くことができました。

長いようであつという間の時間でしたが、素直で優しい子どもたちと共に過ごせたことに感謝の気持ちでいっぱいです。また、保護者の皆様、地域の皆様にも様々な場面で支えていただき、充実した日々を過ごすことができました。

今後は、ここでの経験を糧にし、身の回りを整理しながら、第2の人生を過ごしたいと考えています。本当にありがとうございました。

いとまぶこ  
**伊藤 真生子**

教諭（平成26年4月着任 厚岸町立厚岸中学校へ）



3年間、あつという間に過ぎてしまいました。3年前に赴任した時はたくさんの方に温かく迎えて頂いたことが、つい最近のように感じます。

この学校では、親子共々貴重な日々を過ごすことが出来ました。元気に声をかけてくれて、人なつこい子どもたち、私たち親子に、温かく声をかけてくれた保護者・地域の皆様に支えて頂き、応援して頂いたからこそ充実した毎日を過ごせたと改めて感じています。たったの3年間での異動はとても寂しい気持ちでいっぱいですが、4月からは新しい環境に早く慣れ、頑張ります。町内への異動なので、少し離れたところから、可愛い子どもたちを、これからも応援していきたいと思えます。3年間親子共々、本当にお世話になりました。

たなかみえこ  
**田中 美枝子**

事務（平成26年4月着任 再任用任期満了）



3年間、厚岸町再任用職員として学校事務の仕事を担当しました。

学校職場は初めてでしたが、税務課や福祉課勤務時代は、若松、トライベツ地域の方々には仕事でお世話になりました（ただし、子ども達のおじいさんやおばあさんの時代です）。

学校行事の運動会や文化祭では、子ども達や地域の方々と楽しい時間を過ごさせていただき「地域が学校を支えている」ことを実感しました。

退職後もどこかでお会いできるかと思えます。そのときは、是非お声をかけてください。短い時間でしたが、3年間お世話になりました。ありがとうございました。

明日から4月5日まで、年度末・年度始の休業、いわゆる「春休み」に入ります。夏休みや冬休みと異なり、基本的に宿題はありませんが、自主的に学習を進める点では、変わりありません。家庭学習を丁寧に進めることが大切です。また、何より大切なのが、健康・安全です。規則正しい生活を継続し、春休みも早寝、早起き、朝ご飯！



## お知らせ

### 4月6日（木）始業式

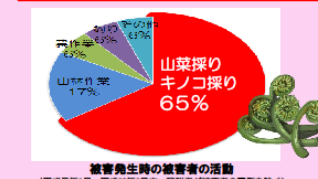
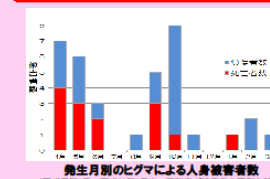
通常登校で、着任式、始業式、学活（教科書配付）等です。小学校は3時間授業（給食なし）、中学校は5時間授業（給食あり）となります。また、スクールバスの冬季運行（2便）は4月中旬まで継続いたします。

## ■ 通知表

本日、通知表が配付されました。毎回、触れておりますが、学習面のみに注視することなく、行動の記録、そして日頃の生活態度も重要視してください。そして、ご家庭で是非、この1年間の「成長」や「伸び」を確認し、目指すべき目標を具体的に設定して下さい。

## 春はヒグマに注意

人身被害は春と秋に多く発生 被害の2/3は山菜・キノコ採りで発生



## 春のヒグマ注意特別期間

平成29年 4月1日(土) ~ 5月31日(水)

あなたが被害者にならない一番の方法は **ヒグマに遭わないこと**です

- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 一人では野山に入らない
- 野山では音を出しながら歩く
- 薄暗いときには行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す
- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る

北海道環境生活部環境局生物多様性保全課

## ■ ヒグマの出没にご注意ください

春は、ヒグマによる人身被害が多く発生しています。これは、山菜採りなどで、人間が山野に出かける機会が多い季節であることに加え、ヒグマも冬眠明けのために、餌を求めて活動が活発になるためです。  
※ヒグマを目撃した場合は、速やかに役場（教育委員会 ☎52-3131 内357）および学校（☎55-9102）にご連絡いただきますようお願いいたします。